

令和7年度 いなばこども園 保育教育活動に対する園評価（保護者アンケート結果）

回答率 = 78% (47/60)

A = はい、そう思う B = 大体当てはまる C = あまり当てはまらない D = いいえ、そう思わない

問い	A	B	C	D	昨年度 A+B値	自己評価 園としての課題や改善策	学校評価委員会 評価委員の意見
	下段はA+Bの数値		下段はA+Bの数値				
①お子さんは園に行くのを楽しみにしていますか	57.40%	36.20%	4.30%	2.10%	86.90%	保護者の実感できる子どもの成長についての問いである。殆どの項目でポイントを上げている。回答者数の伸びを考えると私たちの毎日の営みが、保護者に好意的に受け止められていると考えている。慢心することは宜しくないが、私たちの保育・教育活動に対する自信にしたい。それぞれの項目については謙虚に振り返り、一層数値を高めていきたい。  ⑤や⑦については、本年度「話す・聞く」という点に重点をおいて保育・教育活動を行うように職員で共通理解を図った。  給食について(③)は提供方法が変更になり、保護者からも子どもたちからもおおむね好評である。	○令和6年度と比べ⑥以外は数値を上げている。とても良いことである。去年よりかなり数値が良くなっているのは、素晴らしい。  ○家に帰ると、園での様子を話さない子どもや嫌なことがあった時ばかり話す子などもいるであろう。保育の様子を保護者に伝える努力は今後も必要である。  ○つまり自分の思いを表現できるようになることが大切であり、園で取り組んでほしいと思う。  ○挨拶をすることは最近では不審者問題もあって難しい部分ではあるが、稲葉地区では小学生もよく挨拶をするし、こども園でも頑張してほしい。
②お子さんは園で遊びを楽しんでいるようですか	72.30%	25.50%	2.20%	0%			
③お子さんは園の給食を楽しみにしていますか	66.00%	25.50%	6.40%	2.10%	86.80%		
④お子さんはクラスの先生を信頼（頼りに）していますか	74.50%	25.50%	0.00%	0%	97.40%		
⑤お子さんは困った時、園の先生に自分から話ができるようになってきましたか	53.20%	36.20%	10.60%	0%	81.50%		
⑥お子さんには友達がいるようですか	70.20%	23.40%	4.30%	2.10%	97.40%		
⑦お子さんは自分の思ったことを友達に言えるようになりましたか	27.70%	51.10%	19.10%	2.10%	76.30%		
	93.60%		6.40%				
	97.80%		2.20%				
	91.50%		8.50%				
	100.00%		0.00%				
	89.40%		10.60%				
	93.60%		6.40%				
	78.80%		21.20%				

問い	A	B	C	D	昨年度 A+B値	自己評価 園としての課題や改善策	学校評価委員会 評価委員の意見
	下段はA+Bの数値		下段はA+Bの数値				
⑧教職員はお子さんの園での生活の様子をよく見てくれていますか	53.20%	42.60%	4.30%	0%	92.10%	保護者や子どもに寄り添った教職員の姿についての問いである。殆どの問いが昨年度以上の数字を残している。特に⑨や⑫については大きく数値を上げた。  職員には、 ・子どもの話にきちんと耳を傾け子どもの言い分をしっかりと聞くようにする。 ・保護者の立場を理解し保護者の話に温かく耳を傾ける よう、カウンセリングマインド等の研修を通して指導を行っていきたい。	○全体的に良い評価である。  ○先生方の努力（仕事ぶり）が保護者に良い印象で伝わっていると思われる。 ○本年度の結果に満足することなく、一層努力を重ねてほしい。
⑨教職員はお子さんが園で楽しく遊べるよう保育をしていますか	72.30%	25.50%	2.20%	0%	92.10%		
⑩教職員はお子さんの健康や安全面について気をつけていますか	59.60%	38.30%	2.10%	0%	97.40%		
⑪教職員は子どもたちの良いところを見つけ伸ばそうとしていますか	66.00%	27.70%	6.40%	0%	92.10%		
⑫教職員は保護者の方の相談相手になっていますか	59.60%	27.70%	12.80%	0%	84.20%		
⑬園は明るく楽しい雰囲気ですか	61.70%	36.20%	2.10%	0%	97.30%	保育・教育活動に対する園の姿勢を尋ねた問いである。殆どの問いが昨年度並みであったが、⑬、⑰においては、昨年度より若干数値を挙げている。  広報活動はお便りや掲示物、ホームページをはじめ様々な保育教育活動が分かり易く伝わるように、心掛けてきた。その成果が表れたものと思われる。今後も継続したい。	○⑬のD判定は、何が原因なのか、自分たちで考えてみるのがいい。  ○園庭などにある遊具の数には変化が見られないようだが、幼稚園時代と比べて遊具の数が減っているように感じる。  ○乳児部の遊具は少ないかもしれない。  ○遊具の老朽化に伴い新しい遊具を導入していくことも必要と考える。安全面や財政面を考えると、大規模遊具の設置は難しい部分があるかもしれないが、長い視点で検討したい。
⑭遊具、施設は子どもたちの発達段階に即した適切なものになっていますか	51.10%	42.60%	2.10%	4%	94.80%		
⑮園は子どもたちの安心安全に配慮していますか	57%	40.40%	2.10%	0%	94.70%		
⑯園は子どもたちの様子を積極的にお知らせしていますか	42.60%	42.60%	14.90%	0%	81.60%		
⑰園の子どもたちは明るく素直に育っていますか	57.40%	40.40%	2.10%	0%	94.80%		